

昭和54年10月1日

毎月1回10日発行

令和3年9月10日

第3種郵便物認可

名古屋手をつなぐ No.544 (9月号)

頒価 一部100円

名古屋



〒456-0031

名古屋市熱田区神宮四丁目4番5号

☎ 052(671)6211(代)

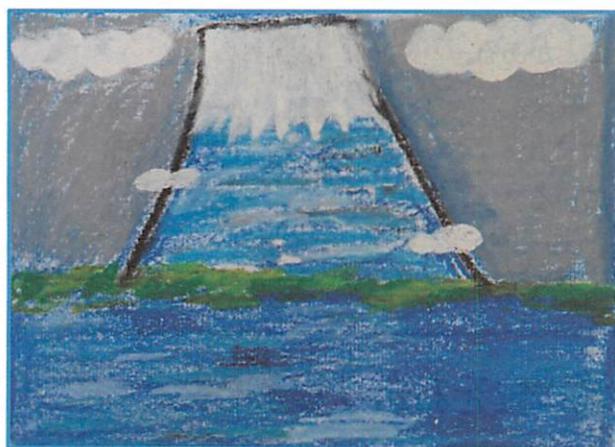
FAX 052(671)6214

社会福祉法人

名古屋手をつなぐ育成会 印刷・発行

発行責任者 理事長 山崎 梅治

ホームページ URL <https://nagoyaikuseikai.or.jp/>



「百日紅、富士山、海」

9月は防災月間です

わが家の防災について考えてみませんか？

今年の夏は豪雨による災害が各地で発生し、被災された方が数多くいらっしゃいました。この名古屋でも、突然のどしゃ降りの豪雨にあたり、2000年には東海豪雨にみまわれています。地震についても、南海トラフ巨大地震が30年以内に70～80%の割合で大被害に遭うと予測されています。災害は他人事ではありません。いつ自分や家族にふりかかってくるかわからないですね。

私たちはいざという時、命をまもるために何を準備しておけばよいのでしょうか？また地域の方たちとのつながりはとても大切です。日頃から良い関係を築けるとよいですね。

当育成会では親や職員と災害の備えについて考えてみました。知的に障害がある人ならではの項目もあります。よろしければ参考にしてください。

- 災害時の非常持ち出し袋に、避難グッズを用意している。
- 災害時の非常持ち出し袋に、ヘルプカードを入れている。
- 持ち出し袋にいつも飲んでいる薬とお薬手帳のコピーを入れている。
- 持ち出し袋に我が子のお気に入りのものや、あると落ち着くもの（本、おもちゃ、携帯音楽プレーヤー、ゲーム等）を入れている。
- 持ち出し袋に3日分の飲料と食料を入れている。
- 家庭の非常食は1週間分ほど用意している。
- 非常食の賞味期限をチェックしている。
- 自宅や我が子の通う場所・往復の経路の地域のハザードマップを確認している。
- 避難する時、どこに避難するか決めている。
- 避難する時、家族の集合場所を決めている。
- 災害用伝言ダイヤル（171）を知っている、試したことがある。
- 家具や冷蔵庫の転倒防止の対策をしている。
- 就寝時、懐中電灯やスマホ、靴を枕元に置いている。
- できる範囲で、周りの人に我が子の障害のことを話している。
- 地域に「避難行動要支援者」の名簿を提出している。



熱海市で発生した土石流被害世帯へ義援金をお送りしました！

令和3年7月、熱海市伊豆山地区で発生した土石流によって熱海市手をつなぐ育成会会員2世帯の家屋が流失し、ご家族が被災されたとのことでした。

静岡県手をつなぐ育成会から依頼がありましたので、当育成会で各区支部、施設支部等に呼びかけをしたところ、30万円の義援金が集まりました。皆様の温かいご協力、本当にありがとうございました。

被災された会員の今後の生活再建に少しでも役立てていただくとともに、被災地の方々の1日も早い復興を願ってやみません。

「個別避難計画」って知っていますか？

今年5月の災害対策基本法の改正を受けて、愛知県内の市町村が、災害時の避難に必要な高齢者や障害者の「個別避難計画」(※)の策定を進めているそうです。昨年12月の国の調査では県内54市町村のうち半数近くの25市町村(46.3%)が未策定だったとのこと。県は先進事例を紹介するなどして、策定を後押ししているようです。県の担当者は「一人一人の命を救うためには前もって計画を作っておき、逃げ遅れがないようにすることが大事だ」と言っておられます。



名古屋市では平成19年から「助け合いの仕組みづくり」事業が開始され、現在も多数の町内会等で進められています。障害のある当事者も、高齢となった保護者も避難行動要支援者となります。個別避難計画の策定が進み、事前に安心できる仕組みづくり早く進むように望みます。

※個別避難計画：2013年に高齢者や障害者など、災害時に支援が必要な「避難行動要支援者」の名簿作成が義務化され、記載された情報をもとに避難場所や避難経路、支援してくれる人の名前と連絡先を自治体が追加で記入したもの。

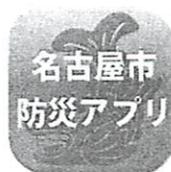
災害の時に役立つアプリ等ご紹介をします

◎災害時障害者のためのサイト (NHK ホームページ>ハートネットTV)

- ・支援を要する障害者や高齢者を対象に、どのように災害に備えればいいのかや、災害が発生した時には 被災地の安否情報・支援情報を掲載し、随時更新しています。

◎名古屋市防災アプリ

- ・地震防災情報、水防情報、帰宅支援情報があり、位置情報をオンにすれば現在位置から避難所までの道順を知らせてくれます。
- ・被害想定や津波情報、浸水情報も確認できます。



◎名古屋市公式LINE

- ・市や区からのお知らせが届きます(希望する分野・区の情報受信が可能です)。内容は、交通安全・防災情報など。
- ・区役所の窓口の混雑状況が確認できます。
- ・現在地から避難場所が検索できます。
- ・ワクチン予約や法律相談予約など様々な情報をご案内。



◎災害用伝言ダイヤル(171)(web171)

- ・NTT西日本が提供する災害用伝言サービスには、電話を利用する声の伝言板「災害用伝言ダイヤル171(電話サービス)」とインターネットを活用する「災害用伝言板web171」があります。
- ・大規模災害発生の場合、電話による安否確認の連絡が取りにくいとき、被災地域内、その他の地域の方々との伝言板です。



☆令和3年度なごや市民総ぐるみ防災訓練について

当育成会では、地域の方に障害のある方を知っていただくきっかけ作りのため、毎年なごや市民総ぐるみ防災訓練に参加していますが、昨年に引き続き地域密着型現地訓練は中止になりました。この中でも熱田区が実施した安否確認訓練を紹介します。

◎熱田区まると安否確認訓練

熱田区支部 奥村幸子

9月5日(日)、熱田区の今年の防災訓練は“安否確認カード”を玄関に出す訓練です。

この訓練は、「隣近所の声かけにより、助けを必要としている人を早く見つけることができれば、失われずに済む命を増やすことにつながる」ために行われます。

緊急事態宣言が出たので、町内会の役員の方が各戸を見回る事や報告などは中止になりました。

朝、親子で玄関に事前に安否確認カードをかけました。

我が家は知的な障害がある息子がいるため、カードに赤ペンで「しえん」の文字と三角のマークを書いてよく目立つようにしてみたところがポイントです。

災害時には必ずしも親と一緒にとは限りません。万一の時に避難所においても、皆さんと過ごせるか？ また忘れられた存在になるかもしれないと不安でいっぱいです。地域の方には、日頃から本人を知っていただく機会があれば本当にありがたいと思います。



【安否確認カード】



【2人でカードをかけました】

○他の区でも育成会が参加する予定だった内容をご紹介します

名古屋手をつなぐ育成会の支部対策部会が、令和3年8月6日時点の「なごや市民総ぐるみ防災訓練についての取り組みアンケート」を各区会長と育成会施設関係者に行ないました。

来年度以降の取り組みやコロナ禍の防災訓練の参考になればと思います。

◆各区の取り組み(抜粋)

◎総ぐるみ防災訓練は不参加ですが、6月24日に小学校の福祉避難スペースの見学へ協議会のメンバーで見学に行きました。トイレ、備蓄倉庫など見学

◎育成会グループは、1. エコノミー症候群予防の体操 2. 福祉避難スペースの見学 3. 中電、日赤、災害ボラなどのグッズ展示室の見学。防災地域づくり部会としては、参加の地域住民に、身体、視覚、知的、精神、聴覚障害者の当事者が、車椅子体験や視覚障害者のサポート体験、「災害時の要配慮者の理解のため」に障害特性の説明をする

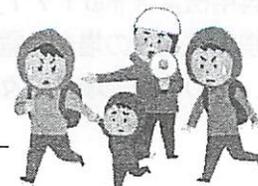
◎福祉避難スペースに防災部会としてパーテーションやベッドなどを地域の人と障害のある人と一緒に組み立てたり、福祉スペースのあり方を考える。その後、そのスペースで障害のある人に実際にトイレやベットなどの使い方を試してもらう予定

◎避難スペースにて要配慮者の理解のため、いきいき支援センターの寸劇、育成会としては本人とともに障害者理解、本人たちとともに参加者にチラシ配布の予定
中止の場合でも、要配慮者理解のために作成したパンフを配布予定

◎要配慮者講習を体育館に全体が集まっている場で行う。「自閉症の子どもたち」というビデオを見ていただいて、各障害について当事者よりお話しをする。ヘルプカード・ヘルプマークの話も含む。福祉避難スペース紹介、コロナ禍の状況を想定した内容

◎障害者対応講習(自立支援連絡協議会)・避難所名簿登録

※受付の段階で一般と要配慮者に分ける・ペットの災害対策



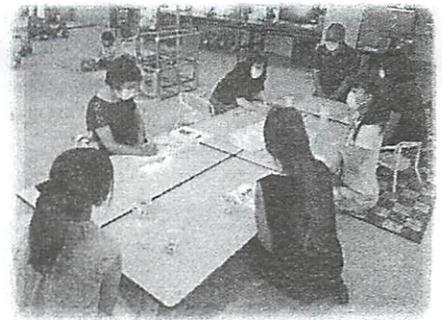
令和3年度 療育巡回事業

あつたいこいの家 ティー&トークを開催しました！

乳幼児期、お子さんの発達に心配があると保護者は不安でたまりません。そんな保護者の皆さんの心配を少しでも緩和するために、名古屋市は、親子で通える「いこいの家」を15か所に設置し、育成会はそのうちの3か所で週2回運営しています。8月10日（火）にあつたいこいの家でティー&トークを行ないました。

＜当日のお話から＞

- 我が子の心配から保健センターに相談したら、いこいの家を紹介してもらった。
- 幼稚園の室内の集団行動が苦手、屋外の運動会はできた。
最近では、2語文・3語文が出てきている。
- 1歳半頃ことばが少ない、歌にあわせて踊ったり、片付けなどの集団行動は苦手だった。幼稚園へ行き始め、みんなと一緒に行動できるようになってきた。時々家に帰ってから泣き続けたりすることがあり、対応が困ることがある。
- 1歳頃からことばが少ない、指差しがない、感覚過敏などがあつた。
検診の後に、あそびの教室へ、お母さんが心配ならと6月に地域療育センターの療育をお願いしたが、予約がいっぱいのため、8月から療育グループがスタートした。
我が子の今後について、大規模か小規模かの幼稚園のどちらの選択をすべきか悩む。
- パパ・ママ・アンパンマンのことばや箸を使っていたのが、2歳頃から使わなくなった、ことばもしゃべらなくなってきた。児童館からいこいの家を教えてもらった。
- 他の遊ぶ場所だと、他の親に謝ってばかりで、親も子も居づらいことが多いが、いこいの家は、親も子どもも気兼ねなく、安心して通える場所だから本当に良かった。



……など、様々なお話がありました。アドバイスも少しさせていただきました。

＜ティー&トークの今後の予定＞

天神山いこいの家
10月27日（水）
11:00～12:00

桜山いこいの家
10月28日（木）
11:00～12:00

いこいの家の役割は、発達に心配や不安がある親や子が、安心して通える場所、そして、子どもの発達の相談をしたり、他のお母さんと交流したり、情報交換もできる大切な場所です。必要な親やお子さんに、いこいの家の利用につながればと思っております。

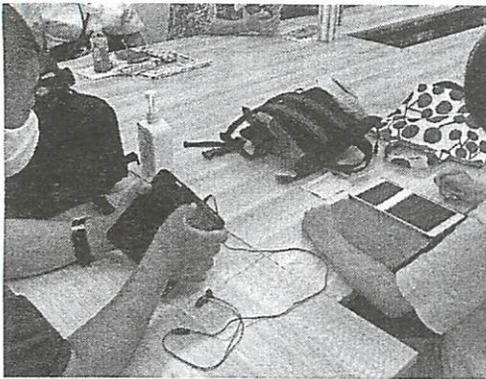
＜いこいの家 開催日＞

あつたいこいの家	（火）（水）	9:00～14:00
天神山いこいの家	（水）（金）	9:00～14:00
桜山 いこいの家	（月）（木）	9:00～14:00



ティー&トーク担当：そだつ・はたらく部会 宮原・木崎・濱田

せいねん かい 青年の会で ずーむべんきょうかい Zoom勉強会をしました



れいわ ねん がつ にちにちようび なかがわくしょうがいしゃきかんそうだんしえん
令和3年7月18日（日）中川区障害者基幹相談支援セン
ターでZoom勉強会をおこないました。10時からのグループ
と11時からのグループに分かれて、密にならないようにして
体験しようという企画でした。（10時からのグループに、後の
グループの人も合流して人が多くなったので、あわててメ

ンバー入れかえをしました。）

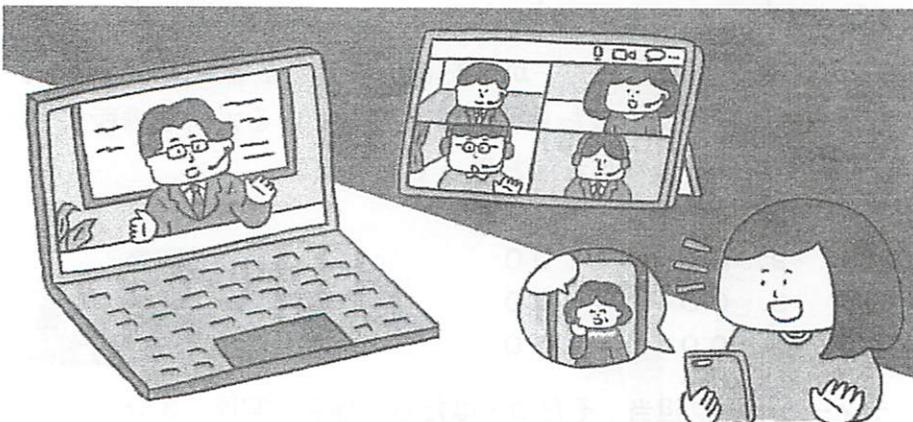
会の皆さんは、スマートフォンを持っている人、タブレットを持ってきた人、持っていないけれど参加してみた人もいました。一緒に来てくれたご家族もおられました。

家に電話してパスワードを聞いて、つなぐことができた人、パスワードをかけていないからすぐにつなぐことができた人、セキュリティ対応でロックがかかっているためにつなげない場合もありました。

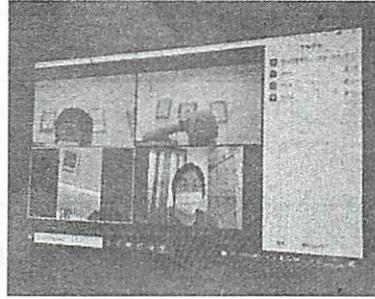
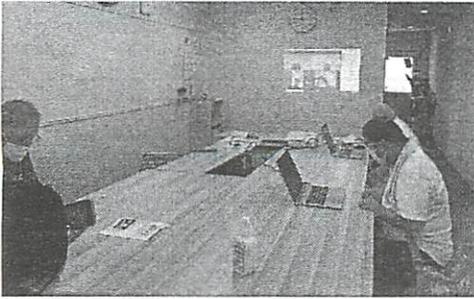


センターのパソコンや、支援者のスマートフォンも使いながら、一人ひとりが画面上でつながる体験を試してみました。

遠くにも青年の会のミーティングができたり、全国の本人の会の人達と話したりできたら楽しいでしょうね。



- ・全国手をつなぐ育成会連合会『手をつなぐ』2021年2月号に「リモート活用してますか?」の特集がありました。
- ・リモートを使うための基本操作もていねいに説明されています。



とりあえずZoomの体験をみんなで出来たことはよかったです。

課題はアプリをインストールすることが、ロックがかかって無理だった人など、環境が作れない人もいたので、オンラインと対面の併用でやっていくことが必要そうだと思います。

また、保護者向けにも体験する機会がもてたら、本人も抵抗が少なくなるかなと思いました。

Zoomってなんだろう

新型コロナウイルスの感染拡大で、みんなで集まったり、いろんなことを話したりできなくなっています。

そこでリモートで、はなれた所にも、集まったり話したりできるZoomという無料のアプリが、いろんな会議や友達とのやり取りに活用されています。

パソコンやスマートホンの画面越しに、話ができます。それも、一人だけでなく、何人もの人と顔を見て話せます。

青年の会でも、このZoomを使えるように、みんなで勉強してみませんか？

（「青年の会のお知らせ」より）

育成会事業中止のお知らせ

現在の新型コロナウイルス感染症の感染状況はワクチン接種が進んでいるものの、新たな変異株が確認されるなど拡大状況は続いており、終息の兆しはみえません。

当育成会では年間計画において各種の事業を予定していましたが、残念ながら実施出来ない状況が続いています。従いまして今年度におきましては、今後予定されています育成会事業についても中止といたしますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

- 第57回重度在宅児・者研修旅行 → 延期していましたが、今年度は中止します。
- フライングディスク教室 → 中止します。
- 青年教室 → 中止します。
- 青年の会 → 中止します。

（役員会など開催の場合は、活動内容をご案内し参加者をつのります。）

名古屋手をつなぐ育成会生活支援センター相談事業のご案内

☆育成会相談室 悩みやご相談のある方ご利用ください。電話相談もしくはお電話の上ご来館ください。

生活支援センター長 山崎 梅治			
相談内容	開設日	担当	時間
権利擁護・差別虐待・成年後見推進事業・福祉サービス苦情解決、その他	毎週月～金曜日	当法人役員等	10時～16時

社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会 事務局

〒456-0031 名古屋市熱田区神宮四丁目4番5号

Tel(052)671-6211(代) Fax(052)671-6214

☆中川区障害者基幹相談支援センターお気軽にのぞいてみてください。(市内どこからのご相談も受けけます。)

開設日・時間 月～金曜日 第2・4土曜日 (9時～19時)

〒454-0869 名古屋市中川区荒子一丁目141-1 奥村マンション1階

Tel(052)354-4521(直) Fax(052)354-2201

地下鉄東山線高畑駅3番出口徒歩8分・あおなみ線荒子駅下車西へ徒歩8分

地域活動支援センター「はぼたん」では、障害に対する理解促進と普及活動の一環として利用者の社会参加と、地域とのかかわりを持つことが増え自信をつけていくことを目的として「はぼたんマルシェ」を毎月第3水曜日に開催をしております。月日が経つのは早いもので初開催から1年近くになり、自主製品を出される参加事業所の数も増え、販売商品もバラエティーに富むようになり、地域の方も楽しみにされて来られるようになりました。利用者の方も準備や販売にも慣れてきて毎月の開催を楽しみにされ、自信がついて利用者自身のステップアップ、社会参加の機会になっています。今後も地域の方が来られることで地域との繋がり、人との繋がれる機会、人と人のふれあえる機会として、障害に対する理解促進、普及啓発につとめていきたいと思っております。

行って見て聞いて

Information

(舞台企画) あいちアール・ブリュット障害者アーツ展が開催されます

愛知県内の障害のある方の芸術・文化活動を通じて、障害のある方の社会参加を促進し、それにより社会全体の障害への理解が深まることで、障害の有無をこえた交流が広がることを目指し、開催されます。

●開催内容：

10月27日(水) 13:30～16:10

2021障害者雇用促進セミナー&障害者理解促進シンポジウム

10月28日(木) 13:00～17:20

あいちアール・ブリュット障害者アーツ展舞台発表

10月29日(金) 15:00～

「愛知県立芸術大学フレッシュアーティストによる木管五重奏の午後」

●場 所：名古屋市昭和区文化小劇場(昭和区花見通1丁目41番地の2)

●入場料：無料(事前申込必要。ホームページをご確認ください。)

●問い合わせ先：愛知県福祉局福祉部障害福祉課 TEL 052-954-6697

●主 催：愛知県



QRコード(ホームページ)



各区・各会

中川区手をつなぐ育成会

会活動と共に育むこれから

新型コロナウイルスの感染拡大による未曾有の事態が全世界を震撼させています。

ワクチン接種による感染防止対策の中、感染力が強い可能性のデルタ株が発生し不安な日々が皆さんの暮らしに多大な影響を及ぼしています。

未だ見通しが立たない状況下ですが「コロナ禍だから〇〇は出来ません」と一言で諦めずに厳しい現状を捉えた上で“今だから出来る事”を広い視野でチャレンジ!!「ディスレクシア」について学んだり、叶わなかった「防災訓練」をシミュレーションして来年度への実現化に繋げるアクションを発信しています。

例えば、六面のサイコロの一面だけを見るのではなく他の面にも目を向けるとおのずと新たな発見に気づくのでは…と常に前向きなキモチで取り組んでいます。困った時には行政や関係機関からの心暖まるサポートを頂き心より感謝しております。



中川支部は早いもので60年になります。10年前に節目の50年式典を開催した事を10年の月日が過ぎた今でも鮮明に記憶されています。

60年の記念行事はコロナ禍ではありますがこんな時だからこそ大切にしたい事について改めてじっくりと思いを募らせた記録誌になる様に考えています。

これからも育成会活動が唯一無二と感じていただける様、柔軟な発想で挑戦し続け、育成会が地域と共に活性化されます様に会員一同で頑張っていきたいと思っております。 中川区手をつなぐ育成会 高橋三佐登



休日の過ごし方

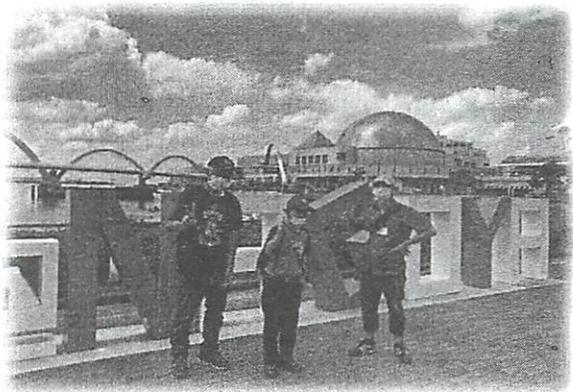
みずほグループホームです。利用者の皆さんは、普段はサポートセンターbeing瑞穂を利用しています。

休日の過ごし方ですが、以前はヘルパーさんと外出をしたり、デイサービスを利用するなど、それぞれ皆さんの好みに応じた休日を過ごしていました。しかし新型コロナウイルス感染症の流行により、それらの利用を休止しています。

現在の休日の過ごし方は、自宅へ帰宅されるか、グループホームでのんびり過ごすかのどちらかとなっています。グループホームでのんびりまったりと過ごすのも良いのですが、たまには残った人達でドライブなどにも出かけたりしています。

天気の良い日に名古屋港へ行きました(勿論、しっかり感染症対策をした上で出かけました)。早く色々と気にすることなく、充実した休日が過ごせるようになって欲しいなと思っています。

みずほグループホーム





本人参加のページ



天白区手をつなぐ育成会

ふれあい教室 フライングディスクに参加したよ

7月17日(土)天白区のふれあい教室・フライングディスクに参加しました。

去年はコロナのため中止になったので、今年はやれるかなと心配したけど、近藤先生や母ちゃんたちが頑張ってくれた。



ワクチン接種で参加する友達が少なくなったけど、いっぱいディスクを投げることができて楽しかったです。アキュラシーでは一番たくさんはいたり、記念品もいただきました。 天白区手をつなぐ育成会 富岡 さとふみ

【 名古屋手をつなぐ育成会の人事異動 】

令和3年9月1日付で職員の異動がありましたので紹介します。

桑野 小夜子 (新) 中川区障害者基幹相談支援センター 相談員 (旧) 荒越グループホーム 世話人



例会のお知らせ

Table with columns for 10月 and 11月, listing various activities like 支部活動対策部, 会長会, 広報啓発委員会, etc.

下記の学習部会は、会員さんどなたでもご参加できます。

表紙について 【 百日紅(さるすべり) 、 富士山 、 海 】 ~ 夏をイメージして三人で思い思いに描きました ~ 昭和区手をつなぐ育成会 岡田 勝巳、林 潤一さん、林 元気さん

8月*名古屋手をつなぐ育成会事業

11日(水)・令和3年度市長要望 於名古屋市役所
山寄理事長、濱田副理事長、
古川常務理事出席

26日(木)・守山区育成会 8月期定例会

於守山区役所

31日(火)・南区育成会 8月会員定例会

於南生涯学習センター

*名古屋手をつなぐ育成会会議等

2日(月)・学習部会 於第1会議室
・広報・啓発委員会 於第1会議室
3日(火)・支部活動対策部 於3階ホール
5日(木)・事業推進会議(業務運営連絡会)

於第1会議室

・広報・啓発委員会 於第1会議室

10日(火)・いこいの家ティー&トーク

於あつたいこいの家

山寄理事長、濱田副理事長、宮原理事参加

19日(木)・8月期会長会 於3階ホール

27日(金)・第256回理事会 於第1会議室

・第375回評議員会 於第1会議室

*各区・各会行事

8日(日)・千種区育成会 災害研修会
於名古屋市港防災センター

・港区育成会 枝豆の収穫
於東海市の畑

22日(日)・中川区育成会 運動会準備会
於中村生涯学習センター

・中川区育成会 ボウリング親睦会
於コロナキャットボウル中川店

23日(月)・緑区育成会 8月度全体会
於緑区役所

24日(火)・名東区育成会 チャット配信説明会
於障害者スポーツセンター

・名東区育成会 8月例会
於障害者スポーツセンター

25日(水)・中川区育成会 防災訓練シミュレーション
体験学習会 於中川区役所

*他団体関係事業・行事

18日(水)・名古屋市障害者団体連絡会

於オンライン会議(ZOOM)

濱田副理事長、古川常務理事出席

正会員・賛助会員を募集しています

入会者には毎月会報をご送付します。

【正会員】

1. 本人・保護者会員＝知的障害のある本人、保護者で
本法人の趣旨に賛同し本部会費(月額500円)と支部
(各区・本法人外施設)会費を納入した方。
2. 施設利用者会員＝本法人施設利用の保護者又は保
護者のいない本人で本法人の趣旨に賛同し、施設利
用者本部会費と支部(区支部と本法人運営施設支部)
の会費を納入した方。
3. 役員・職員会員＝本法人役員・職員で本部会費(月額
500円)を納入した方。
4. 地域賛同者＝本法人の趣旨に賛同し本部会費(月額
500円)を納入した方。

【賛助会員】本法人の趣旨に賛同し、財政援助(年額
3,000円以上)をされた方。

【特別賛助会員】本法人の趣旨に賛同し、財政援助(年額
1口5,000円)を2口以上された方。

振込先:郵便局 口座番号:00850-5-53143

加入者名:社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会

—お問い合わせ先— TEL052-671-6211

社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会 事務局



ひなん
「避難」って
何すれば
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけ
が避難ではありません。
「避難」とは「難」を「避」けること。
下の4つの行動があります。



行政が指定した避難場所 への立退き避難

自ら携行するもの
・マスク
・消毒液
・体温計
・スリッパ 等

小・中学校
公民館

安全な親戚・知人宅 への立退き避難

普段から災害時に避難
することを相談して
おきましょう。

※ハザードマップで安全か
どうかを確認しましょう。



普段から
どう行動するか
決めておき
ましょう

安全なホテル・旅館 への立退き避難

通常の宿泊料が必要
です。事前に予約・
確認しましょう。

※ハザードマップで安全か
どうかを確認しましょう。

ホテル
旅館

屋内安全確保

ハザードマップで以下の
「3つの条件」を確認し
自宅にいても大丈夫かを
確認することが必要です。

想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある
区域では立退き避難が
原則です。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
(入っていると…)



流速が速いため、
木造家屋は倒壊する
おそれがあります



地面が削られ家屋は
建物ごと崩落する
おそれがあります

② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m～10m未満 (3階床上浸水～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、
水・食糧などの備えが十分
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の
使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や②水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。